

令和6年度 牛久第一中学校グランドデザイン

《茨城県総合計画》
Ⅲ「新しい人財育成」へのチャレンジ
政策11 次世代を担う「人財」
政策12 魅力ある教育環境

《本県教育の目標》
○ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
○じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
○郷土を愛し
協力しあう心を育てる

学校教育目標

夢や目標をもち生き生きと学ぶ生徒の育成
【校訓】協和 賢明 剛健

《牛久市教育目標》
知性に富み
心身ともに健康で
人間性豊かな
児童生徒を育成する

《牛久市教育中期重点目標》
未来を自分らしく生き、自分
や社会に起こる課題の解決が
できる資質・能力の育成

本校の経営理念

「誰一人取り残さない、魅力あふれる温かな学校」

～一人一人の「学び」と「心の居場所」を保障する授業づくり・集団づくりを通して～

《目指す学校像》

- ◇笑顔と活気があふれる学校
- ◇安心・安全な学校
- ◇地域に愛され、地域に信頼され、地域とともにある学校

《目指す生徒像》

- ◇自ら考え、学び続ける生徒
- ◇互いにリスペクトし、共に認め合える生徒
- ◇しなやかで、心身共にたくましい生徒

《目指す教師像》

- ◇授業力のある教師
- ◇子どもに寄り添い、可能性を信じて指導できる教師
- ◇専門職として学び続ける教師

令和6年度牛久市全校全学年共通目標

教科書を介し、多様な授業形態や学習活動等を用いて、学力向上や健康増進を図るとともに、小さな達成感や成功体験を積み重ねることで、自己肯定感と自ら学ぼうとする力を養う。また、対話型学習等を介して、協調性と他者を思いやる心を育む。

研究テーマ： 誰一人取り残すことなく、質の高い学びを実現する授業づくり
～個別最適な学びと協働的な学びを実現するための授業の工夫～

令和6年度組織目標 『温かさと強さを持ち、自他を大切にできる人財の育成』

重点目標・具体的施策

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」

- ・ICTの日常的活用による「個別最適な学びと協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業づくりのアップデート
個別最適な学び→個に応じた主体的な学び
協働的な学び→対話を生かした深い学び
- ・探求的な学びの充実（探求したくなる課題設定、振り返りの充実）
- ・対話型、対話＋斉型、斉型等による、より学習効果を高めるための形態の工夫
- ・特別支援教育の視点に立った授業づくり

「個々の存在を認め合い支え合う集団」の育成

- ・人権教育（自分も大切に、他者も大切に）を基盤とした多様性を尊重する学級経営や積極的生徒指導の充実
- ・各教科、特別活動等の指導と生徒指導を一体化させた授業づくり、集団づくり
- ・リスペクトに基づくやわらかな人間関係づくり
- ・心の居場所となる温かな学級づくり（QU調査の有効活用）
- ・生徒一人一人のニーズに応え、自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実
- ・生徒の主体性をより高める特別活動の充実

「地域に開かれた学校づくり」の推進

- ・学校運営協議会を核とした地域との連携協働
- ・地域の一員としての生徒による地域行事への積極的参加
- ・総合的な学習の時間の工夫により、地域ニーズを把握し、地域貢献活動、職場体験活動等を通じた学びの充実
- ・小中連携、中高連携、関係諸機関との連携強化
- ・学校便り、ホームページ、アプリ等活用による積極的情報発信

「安心・安全な学校づくり」の推進

- ・命、健康を大切にする教育の充実（体育、保健安全指導）
- ・情報モラル教育の計画的な実施
- ・学校の実情に基づく危機管理マニュアル改善、避難訓練等の実施
- ・警察等、関係機関との連携と危機管理体制の整備、見直し
- ・信頼される教職員であるためのコンプライアンス研修の充実
- ・生徒と教師、個別に向き合う時間の確保（月1回）

「働き方改革・働きがい支援」の推進

- ・同僚性、協働性の構築
- ・教育課程の工夫によるさらなる効率化の推進
- ・地域移行に向けた大胆な部活動改革
- ・資質向上のため自ら学ぶ研修機会の確保
- ・子どもと向き合う時間確保のための働き方改革の推進
- ・時間外勤務45時間以内／月に向けた意識改革

キーワード： 人財育成 個別最適な学び 協働的な学び リスペクト 同僚性 積極的生徒指導